

およびイオン交換樹脂を用いて追跡し、アミノ酸の含有量の変化状況は、Paper chromatography によるアミノ酸の呈色班抽出比色法を用いて定量を行なった。

3. 成育過程における、早期米およびとうもろこし苗、また成熟過程における種子中の遊離アミノ酸は、不変のものでなく、苗成育および種子成熟の段階がすすむに伴って、その種類および含有量に変化を生じることが認められた。

A-23 穀類の遊離アミノ酸含有量に関する研究  
(第4報)米およびとうもろこしの成熟過程における遊離アミノ酸含有量の変化について

県立熊本女子大 松下アヤコ

1. 穀類の成育過程における遊離アミノ酸の消長と穀類のうま味成分との関係を明らかにするためである。
2. アミノ酸の分布状況は、Paper chromatography